

入札監理小委員会における審議の結果報告
独立行政法人国際交流基金 日本語国際センター海外日本語教師研修接遇業務

独立行政法人国際交流基金日本語国際センター海外日本語教師研修接遇業務については、公共サービス改革基本方針（別表）において、平成24年4月から平成25年3月までの1年間を契約期間として、民間競争入札を実施することとされている。

これに基づき、当該民間競争入札の実施要項（案）を入札監理小委員会において審議したので、その結果（主な論点と対応）を以下のとおり報告する。

1. 業務内容及び確保すべきサービスの質（実施要項2,3,30~32ページ）

【論点】

- ① 業務の履行に際して重視することとしている緊急時及び非常時の対応に関して、十分な説明がなされているか。
- ② 研修参加者の満足度を調査するアンケートについて、業務の履行を通じて受託事業者に求める質が的確に反映される内容となっているか。

【対応】

- ① 国際航空券手配業務及び国内接遇業務の各業務の内容の中で、緊急時及び非常時に求められる体制等を記載。
- ② 受託事業者に求める質を的確に反映させ、また、質問の趣旨が回答者に伝わりやすくする観点からアンケートの設問内容、構成を見直し。

2. 入札に参加する者の募集（実施要項9~10ページ）

【論点】

- 入札参加者が入札書を提出するに当たって参考とすべき事項について必要な説明がなされているか。

【対応】

- 入札説明会で提示する業務内容の具体的な事項、入札金額を構成する積算項目の内容、包括契約と個別契約で定める内容等を具体的に記載。

3. 落札者決定の評価基準（実施要項34~40ページ）

【論点】

- 落札者決定に当たっての質の評価において、重視する点が明らかになっているか。

【対応】

- 落札者決定に当たっての質の評価項目の評価表について、全体の評価項目を43項目に細分化し、評価基準を具体的に記載。

以 上